

新春アパレル首脳インタビュー

# 2011年を

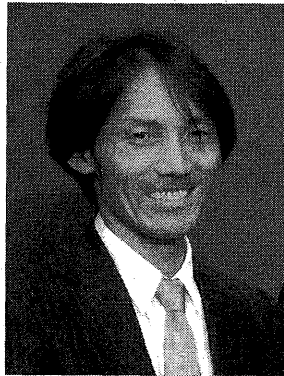
# こう攻める!

②

サンエー・インターナショナルは今年、グローバルな視点での経営を推進する。東京スタイルとの経営統合を進める他、「キャス・キッドソン」「アルファエー」などの新ブランドも積極的に導入する。

——今年の経営方針 思います。  
——東京スタイルと

今年には色々な意味でのグローバル化を推進したい。海外に出るといふ意味合いではなくて、全体最適だったり、大きな枠の流れたったり、グローバルな発想で経営を進めていきたいと



サンエー・インターナショナル社長  
三宅 孝彦 氏

## グローバルな視点で経営

の経営統合の進捗状況は。

今はお互いを知る時期と位置づけていて、現場レベルで情報交換を進めている状況です。本格的に統合を進めるのは、6月に共同持株会社を設立して以降になりま

海外事業の方針は？

海外は柔な状況ではありませんが、路線をやっ

入も考えたいですね。現法人のオペレーション

も現地の人中心に切り換えただけでなく、現地マー

事業のみですが、今秋からはライセンス展開を

開始し、3年目に27店舗で売上高50億円を目指し

だが、生産面の戦略は？

中国の生産環境は大幅に悪化していますが、昨年5月に当社とグループ会社の生産管理と物流管

レディース（「シル スチュアート」と「バービー」）は、日本のブランドとして効果的に情報を発信していきたい。この（FB）とジョッピンングの2ブランドがある程度センタ（SC）を中心に組み立てられるようになれば、次のブランドの導

「アルファエー」への期待は。今年から導入する新ブランド「キャス・キッドソン」は、百貨店でも通動でなく、生産環境の悪化と原料高の問題は続いているので、今後もインフラを整備していく方針です。